

若年性認知症サポート通信

令和7年5月発行 NO.11

相談状況

令和6年度は、秋田県内から141件の若年性認知症についてのご相談をいただきました。

ご本人の性別

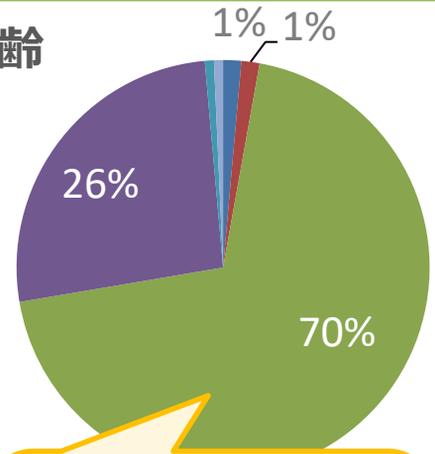
- 男
- 女



若年性認知症は男性に多いとされています。

ご本人の年齢

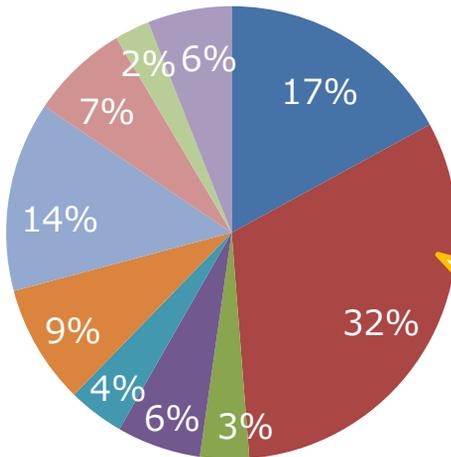
- 39歳以下
- 40～49
- 50～59
- 60～64
- 65～69
- 70代以上
- 不明



コーディネーターへの相談は50代、60～64歳の方が96%を占めました。認知機能の低下に気づく年齢は平均54.4歳といわれています。

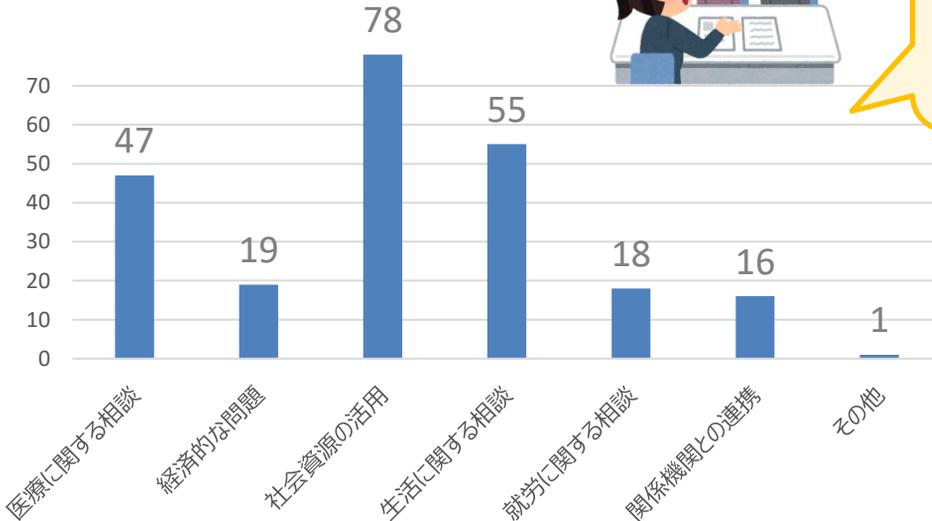
相談者の関係

- 本人
- 配偶者
- 子ども
- 兄弟姉妹
- その他(親・親族・友人等)
- 医療機関
- 介護
- 障害者施設
- 企業
- その他



配偶者やご本人からの相談が多い傾向は以前から変わりませんが、勤め先の企業や関係機関と連携して支援しています。

相談内容



認知症を疑って、ご本人やご家族などから検査のための受診相談を受けることが多くありました。

若年性認知症支援コーディネーターが、ご本人やご家族から定期的に生活状況などを聴き取りし、各種社会資源の情報提供・活用支援を行っています。電話や来所相談の他に自宅訪問や関係機関へ同行し、適切な時期に適切な情報・支援が受けられるよう努めています。

ご存じですか？

【若年認知症サロン「つぼみの会」】

秋田県にも若年性認知症のご本人・ご家族の集いの場があります。

【若年性認知症サロン「つぼみの会」】

秋田県で最初にできた若年性認知症のご本人とご家族、サポーターからなる会です。個人の相談に応じたり、ご家族同士のピアカウンセリングをしています。またこれまで、勉強会や施設訪問なども実施しています。

日時：月1回 主に第4日曜日（10:00～14:00）
場所：秋田市東部コミュニティーセンター

お問い合わせ先
TEL：080-3335-3624
つぼみの会代表 柏原さん



若年性認知症のご相談を受けていると、「こんな悩みを持っているのはうちだけですか？」と質問されることがあります。若年性認知症支援コーディネーターも一般的なお話はできませんが、やはり同じ立場にあるご本人やご家族の声の方が、心に響くように感じます。

「つぼみの会」にはご本人やご家族どうしが集まり、経験者にしかわからない、体験や悩みを話し合っ共有することで、介護や生活の工夫を学んだり、制度やサービスなどの情報を得たり、互いに励まし合ったりと、生活を続けていく助けになります。

若年性認知症支援コーディネーターの活用

ご相談ください



若年性認知症支援コーディネーターは、若年性認知症についてのワンストップの相談窓口です。秋田県では秋田県立リハビリテーション・精神医療センターにコーディネーターを2名配置しています。

コーディネーターへのご相談は認知症が疑われる時期から可能です。

診断された後も支援の情報が得られず適切な時期に支援が受けられない「空白の期間」ができてしまわないように、状況に応じてその人に合った、適切で必要な支援の情報を提供します。

勤め先や医療機関、サービス事業所等の担当者との情報交換し、連携して支援が円滑に行われるよう調整します。

認知症のご本人が望む、自分らしい生活を続けられるよう、ご本人の生活に応じた総合的なコーディネートを目指します。

ご本人やご家族だけでなく、企業、市町村や関係機関からのご相談も受け付けています。

若年性認知症リーフレット・ハンドブック

秋田県では、若年性認知症のご本人やご家族への支援として、症状の特徴や家族の対応の注意点、治療しながら働くための制度などを紹介したリーフレット・ハンドブックを作成しています。

秋田県公式サイト「美の国あきたネット」からもダウンロード可能です。ぜひご活用ください。



美の国あきたネット
秋田県健康福祉部
長寿社会課



秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

〒019-2492

秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田352

TEL 018-892-3751 FAX 018-892-3816

<https://yod.akita-rehacen.jp/>

相談時間 月曜日～金曜日 9:00～16:00（祝祭日は除く）

